



第549号

千鳥ヶ淵 戦没者墓苑奉仕会
 公益財団法人 千鳥ヶ淵 戦没者墓苑奉仕会
 102-0075 千代田区三番町2
 電話 03 (3261) 6700
 F A X 03 (3261) 6712
 http://www.boen.or.jp
 郵便振替口座 00140-2-42556
 編集人 塚田 章
 発行人 榎枝 宗男

今年も桜花爛漫の千鳥ヶ淵

今年も春の風物詩である墓苑内のヤマザクラ、枝垂れ桜や千鳥ヶ淵のソメイヨシノ、オオシマザクラが満開となった。自然の輪廻は見事に毎年同じ光景を見せてくれる。一方、人間社会の営みについてはその都度異なる。これまでの春の景色と大きく異なる点は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、昨年に引き続き「千代田のさくらまつり」が中止となったことなどにより、花見客が大幅に減少したことである。

本年は緊急事態宣言明けとほぼ同時に桜が満開となり、混雑を避ける心理が働いたためか、今年の千鳥ヶ淵を訪れる花見客の数は例年に比し格段に減った。勿論、夜のライトアップも中止となったため、夕方からの花見客の姿が減少しており、更に新型コロナウイルス感染拡大前に見られた外国人の観光客もほとんど見ることができなかった。

それでも千鳥ヶ淵の桜は、例年と変わらずあでやかに咲き誇っている。お堀沿いに湾曲した遊歩道に咲き誇るソメイヨシノやオオシマザクラの枝が頭上近くまで下がり、まさに「桜のトンネル」が楽しめる。この趣深い桜はお堀の水や対岸の芝生とともに、江戸城跡の「石垣」と見事に調和し、訪れる人々にとっては花見の楽しさを倍増させる。桜は緩やかに弧を描くお堀を取り囲むように植えられており、人々は枝が水面へと垂れるその姿に感動する。更に、お堀に浮かぶボートに乗って桜をめでることができ、千鳥ヶ淵の花見の楽しみの一つである。昨年はボート乗り場が閉鎖されていたが、今年は多くのボートが水面に浮かんでおり、ここでは例年と同じ光景を見ることができた。



咲き誇る苑内の枝垂桜と上皇陛下御製の碑 (3.18撮影)

この時期には参拝者への便宜を図るため開苑時間が延長され、一昨年には前屋前の広場において野外音楽演奏会が実施され、多くの花見客を参拝へ向かわせる試みが行われた。本年はコロナ禍のためこれまでのような働きかけはできなかったものの、例年に比べて少ないとはいえ通常の時期に比べれば多くの参拝者が訪れた。参拝者の方々には、戦没者に篤く慰霊の誠を捧げて頂いたこと、深く感謝申し上げる次第である。この春爛漫を迎えた今、千鳥ヶ淵戦没者墓苑が、国のため尊い命をささげた戦没者の方々への感謝・慰霊・追悼・鎮魂のための国民的聖苑であり、平和のための祈りの場であることに深く思いを致し、戦没者慰霊を著実に次の世代に語り継いでゆかねばならない。



千鳥ヶ淵の満開の桜 (3.23撮影)



千鳥ヶ淵緑道の花見客 (3.24撮影)

この刊行物は、宝くじの社会貢献広報事業として
 助成を受け作成されたものです。

ピースリング・オブ・グアム・ジャパン 「春彼岸参拝」

3月21日(日)、ピースリング・オブ・グアム・ジャパン主催の春彼岸参拝が行われた。式典は黙禱に始まり、次いで行われた理事長挨拶において、松本平太郎理



事長は、曾祖父をグアム島で亡くされた御遺族からいただいた手紙や、学生時代に戦跡の探訪を希望していた御遺族を紹介しつつ、「今後も若い人たちの力を結集し、先の大戦の記憶を風化させることなく、未永く後世へ語り継ぎ、未帰還のご遺骨を何としても日本にお迎えしたい」と述べた。その後、来賓挨拶、活動報告が行われた後、「ふるさと」斉唱、献花、尺八献奏があり、式典は終了した。

ピースリング・オブ・グアム・ジャパンは、先の大戦で日米両軍のグアム島での戦いで命を捧げられた戦没者への慰霊行事、慰霊碑の清掃などの奉仕活動をしている。英霊となられた方々のご遺骨の早期帰還、過去にあった悲惨な戦争の歴史を風化させず平和への新たな誓い、地元住民の方々との融和と協調を目的に、グアム島を含めて日米双方で熱心に活動している。

東京葵ライオンズクラブ 戦没者追悼慰霊拝礼式

3月27日(土)、東京葵ライオンズクラブ主催第48回千鳥ヶ淵戦没者墓苑戦没者追悼慰霊拝礼式が参列者約30名の参加者を得て執り行われた。

式典は感染防止の観点から、例年行われていた全国友好葵ライオンズクラブから持ち寄られた郷土の水の献水の儀、日舞奉演、小学生による音楽奉奏等を実施しない簡素なものであったが、戦没者慰霊に相応しく厳粛に執り行われた。



式典では国家斉唱に始まり、引き続き行われた主催者挨拶において、東京葵ライオンズクラブの瀬戸口正之会長は「戦後日本の平和と繁栄の陰には、多くの方々が先の大戦で戦い、貴い命をささげられたという事実を忘れてはならない。この歴史を子や孫の世代に語り継いでいくことは今日を生きる我々の責務である。今日の日本のため尊い礎となられた御霊に対し、改めて敬意と感謝の心を捧げる」旨述べ、戦没者慰霊とこれに至った歴史継承の重要性について説いた。引き続き、アクティビティの贈呈、これに対する謝辞の後、参列者による献花が行われた。最後に金前会長による閉会の挨拶が行われ「先の大戦において、学徒出陣により韓国人も動員された。そのうち、特攻隊員として散華された京都大学の学生がおり、その事実を知ってから、墓苑における慰霊行事には必ず参加している(要旨)」と述べ、式典は終了した。

東京葵ライオンズクラブは徳川ゆかりの地である東京、名古屋、和歌山、水戸等の各地で結成以来、毎春に戦没者追悼慰霊式典を行うほか、秋には会員による墓苑の清掃奉仕活動を続けられている。

解脱会 千鳥ヶ淵 戦没者墓苑供養祭

3月28日(日)、解脱会第一教区(教区長・内藤憲一氏)主催の千鳥ヶ淵戦没者墓苑供養祭が会員等約80名が参加し執り行われた。今年で58回目を数える。これまで、本行事は「天茶供養」として知られ、昭和39年より続く解脱会恒例の行事ではあるが、昨年は東京都知事による外出自粛要請の期間と重なり、代表10名による慰霊供養が行われた。今回も例年行われている参拝者に対する天茶のサーブや教団の少年少女鼓笛隊による慰霊演奏などは行わないなど内容を変更し、感染対策に万全を期して行われた。

10時45分に式典が開始され、一同による献花・天茶献茶の後、奉納品献納の儀が行われた。次いで、内藤教区長は諷誦文奏上において「命を受け進んで戦地に赴いたものの、遂に異国の地において亡くなった方々の望郷の念は今なお尽きないと思う。これら殉国の御霊は、ご遺骨とともに清らかなるこの墓苑において鎮まることが願っている。先の大戦が終わって70年以上が経過しており、再び戦禍が生じないことを切に願うものである(要旨)」と述べた。その後、来賓挨拶等が行われ式典は終了した。

今回の式典では献茶を除き天茶撒き供養等の行事が行われなかったが、来年こそはコロナが終息し、例年通りの内容で行事が行われることを期待したい。



【千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会

推薦図書のご案内】

インパール作戦・イラワジ・
メイクテイラー会戦の地へ
戦没者慰霊の旅

藤原 淑子 著



メイクテ
ラー会戦で奇
跡的に生き残
った著者の父、
今里淑郎氏
は、戦後「生
かされた命は
戦友を弔い戦
没者慰霊をす
るための命だ」と言い続け、ミャンマーの
上座僧の資格を取得し戦没者慰霊に生涯
を捧げました。

本書は、25年前から父の活動を手伝い、
父亡き後は父の遺志を継いだ著者が、イン
パール作戦、イラワジ・メイクテイラー会
戦の現地へ行き、現地の地形を見て、地形
から見たビルマ戦争の無謀さ、そして多く

【インパールへの慰霊の旅⑤】

「歴史は巡る」日本陸軍の

ビルマへの進攻経路

隊友会員 柳澤 孝興

開戦当初、日本陸軍第15軍は南方軍
の命に基づき、第15師団次いで第33師
団にラングーン攻略の目的をもってビル
マを進攻させました。その経路は、約五
百年も前からシャム（現在のタイ）とビ
ルマ（ミャンマー）の間の戦争に利用さ
れ続けられてきた経路でした。

ビルマとシャムは東西交易の利益を含
めビルマとシャムの領有を巡り、お互い
の勢力の拡大の戦いを続けてきましたが、
戦いのための移動経路は限定されていま
した。それはビルマとシャムの間に存在
する国境の山岳地帯が急峻であったため、
国境地帯を横断できる経路が、2〜3
経路しか存在し得なかったことに起因
しています。



雨季に狂流化したチンドウイン川

の命の犠牲を生んだ事実を、多くのご遺族
や戦争を知らない方々に紹介するものです。
ミャンマーの北西部のチンドウイン川
流域の村は、少数民族地域で情勢不安の
為、現地に入るには多くの困難が伴い外
国人の入域は永年許されず、またミヤ
マーから陸路でインド／インパールへの
外国人の国境越えも同様でしたが、共に
解除がされた翌年の19年秋に著者は現
地に入りました。著者は日本軍の戦跡を
たどりながらチンドウイン川を下り、ア
ラカン山脈を縦断し、インパール・メイ
クテイラーへと慰霊の旅を続けます。主



ビルマ軍のアユタヤ攻撃経路

それら限定された経路は、ビルマ王朝
軍がシャムのアユタヤを攻撃した際にも
利用されました。その経路図にはビルマ
軍の侵入経路と撤退経路が、それぞれ
別に記載されています。

余談ですが、ビルマのアユタヤ攻撃に
際しては、アユタヤの寺院を含めた施設
を徹底的に破壊しました。その結果、
世界遺産に登録されたアユタヤの樹の間
の仏像の首や破壊された首無し仏像群



レッドヒルにある
「インパール作戦戦没勇士の碑」

要な地形写真は勿論、日本軍各部隊の
慰霊碑や市街の様子など貴重な現地写
真をふんだんに使い、更に、戦史の概要
をまとめ、初めての方にもインパール作戦、
イラワジ・メイクテイラー会戦を約60ペ
ージにわたり解りやすく解説しています。
当奉仕会では、本書が現地で撮った地
形写真により、作戦の困難さを容易に
実感できるものであり、その資料的価値
は極めて大きいと認め、皆様には是非一読
をお薦めするものです。

机上で多数の戦史を拝読しても解り

として、世界的に有名な観光スポットと
なっており残っています。

日本陸軍もビルマ進攻に際して、部隊
移動のための交通路がなく象や駄馬し
か通過できない山岳地内の獣道を人力
を主体とした工事による苦勞の末、なん
とか改修しつつビルマに入っていました。
英国の植民地であったビルマでは、英国
人やインド人からなる混成の将兵が戦力
の主体でしたが、精強な傭兵のグルカ兵
を除き訓練等が行き届かなかったことも
あり、首都ラングーンは無血で攻略され、
日本軍の海上輸送が可能となりました。

ミッドウエー海戦やガダルカナルの作
戦の結果、大量輸送が期待できる海上
輸送が危険となり、輸送力としては限
定されていましたが、陸上輸送に頼らざ
るを得なくなり、泰緬国境を横断する
経路の残りの一本が、泰緬鉄道の建設
経路として選定されました。ビルマ軍の
アユタヤ攻撃に利用された経路が、鉄道



タイとミャンマーの国境地帯、雨期になれば濁流

輸送路としてビルマに進出した日本軍の
補給路となったのです。そして、インパ
ール作戦の後、ビルマからの離脱に際し、
まさに多くの生命を救った最期の経路と
なったのです。すなわち、ビルマとシャ
ムの戦いの歴史が日本陸軍の移動経路と
して巡ってきたのです。永い歴史の輪廻
の二面を感じさせられます。

得なかったビルマ戦争が、困難な地形を
見て、現地に立ち、チンドウイン川を渡り、
アラカン山脈を越えた事で改めてその無
謀さを痛感した私にとり、衝撃のビルマ
戦争となりました。（本書まえがきより）

本書の購入を希望される方は、以下の
要領で申し込みをお願い致します。
代金は千五百円です。（送料込み）
① 先ず奉仕会に電話・ハガキもしくはメ
ールで住所・氏名及び希望冊数をお申込
み下さい。
5月1日から申し込み受付を開始します。
奉仕会電話：03-3261-6700
奉仕会メール：c-houshikai@boen.or.jp
奉仕会住所：〒102-10075
東京都千代田区三番町2
千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
② 弊会から書籍とともに郵便局の振込
用紙をお送りいたします。
③ 振込用紙にて郵便局でお支払い願いま
す（振込手数料がかかります）。
④ ご来苑頂く場合は、6月1日以降頒
布致します。

Table with columns for date, month, and event details. Includes dates from 3/27 to 4/9 and various memorial services.

令和3年度年間主要慰霊行事等予定表

Main table with columns: 備考, 3, 1, 11, 10, 9, 8, 7, 5, 4, 月. Rows list dates and corresponding memorial events.

【語り継ぐ戦中・戦後⑪】
追憶(千鳥ヶ淵戦没者墓苑
が出来た時のお話)

神奈川県逗子市 浜野 正子

父の友人に、美山要蔵様という方がおられた。父、榊原主計と荒尾興功さんと三人、士官学校35期の同期で、戦後処理三羽ガラスと言われた時代もあった。

美山さんは、戦後追放の身でありながら、復員業務に必要という進駐軍の指令で復員局に奉職され、遺骨収集の団長として何度も南方へ出かけられた。「カチン族のハンドバッグ」というのを土産に頂いた事もあった。カチン族はこの中に全財産を入れて持ち歩くと伺ったが、手頃な大きさの丈夫な袋で、丁寧な刺繍がほどこされておりました。何年使ってもくたくたになつたのに色があせず、それなりの味わいであつた。

美山様は後、書家として名を成されたが、戦後はまず、生け花の先生となられた。秘伝を教えて下さるとの事で、父が一番弟子、私は二番弟子となつた。

昭和33年春、私の結婚式には、美山先生にも御出席頂きたかつた。「集めた遺骨が片づけられてしまうと困るから、遺骨のそばを離れられない」との事であつた。「骨壺をかかえて皇居を覗んでいるんじゃない、友人の娘の結婚式どころじゃないだろうね」父も御出席頂くのを諦めた。

実はその時、美山様は大変な時であつた。厚生省の方針で遺骨収集も終わりとつた時、靖國神社は「姓名の判つた英霊はお祀りする。判らないのは、現地人や民間人もあるかも知れないので、引き取れない」という方針であつた。多分、現地で収集に当たられた時、英霊も民間人も戦争の犠牲者として等しく思われたのであろう。大変自然な事だと思ふ。

しかし美山様はその方針に、集めて日本に持ち帰った遺骨をどうしたらよいかと靖國神社のそばで遺骨を前に途方にふてしまわれたのであつた。一人で掘立小屋(父の表現)に住み着いて、遺骨の番をしていられると聞いた。

「あれは、不法占拠だけだね」父は云つた。結局、その後御文庫あとの一角をお下げわたしにあずかり、戦争で犠牲になつた、名前の確認が出来なかつた方々の墓苑が出来た。現在「千鳥ヶ淵墓苑」と云われている。

「靖國神社より皇居に近い所に作る事になった。近い所と強調している。面白いね」父は愉快そうに云つた。

「殆ど二人で奮闘して作つてしまつたよ。大したものだね」とも云つた。

「丹下健三さんがデザインした霊安室が出来たよ」

「千鳥ヶ淵戦没者墓苑は岸信介さんの字(始めから無署名)」

「碑陰の昭和34年3月28日竣工厚生省は、当時の坂田厚相の字」

「御製の御筆は秩父宮妃殿下。碑陰「35年3月18日建立」は美山さん」話題も明るくなつていった。

「一貫した姿勢の美山様には父も敬意を払つてその後もよくお噂を伺つた。

「戦争直後、事務所は要様の会社に借りさせて頂いた。奇遇だね」という話もあつた。要様というのは、主人の従兄弟である結婚して30年もたつてからそんな事が分かつて「御縁だつたのね」といふしかない。ただ美山様の意志が大勢の有志の方々に支えられ、助けられだんだん支持を得られ大きな事業となつていった事はわかる。

その美山様も亡くなられたと聞いて、暫くして追悼の気持ちで主人と出かけたのは、ある晴れた春の日であつた。

美山様がその昔あんなに心をこめた墓苑の、又そのパンフレット類のどこをさがしても、管轄の役所名はあつても、亡くなられた美山様の名を見つけない事は出来なかつた。大きな組織の中では一人の思いから作り始めた墓苑でも、完成した時、個人の名はどこにも残らない。当たり前前の事なのだろう。又、大きい組織の中で一人の思いも大きく結実したともいえる。

「美山さん、勿論よく知つてますよ」売店の女の方はいわれた。

「お友達の方、あ、あの白髪の、やせた方?」

よく見えていましたね」
8年も前に他界した私の父のこともよく覚えていて下さつた。

しかし更に10年もたつた時には、きっとあんなに執念を燃やし、戦後、全部の自分の生涯を捧げた二人の元軍人がいたことを知る人はいなくなつてしまつただろう。

しかし、この墓苑は、この国ある限り、残るだろう。
淋しい気持ちと共に、わが名を犠牲にする事の尊さを教えて頂いたその日、桜の木のない墓苑には、ひとけも少なかつた。汗ばむ陽春の日であつた。墓苑を出ると、千鳥ヶ淵も靖國神社も、今をさかりの桜を楽しむ人があふれていた。

(平成8年春 記)

【語り継ぐ戦中・戦後⑫】
戦没者への想ひ

山梨県甲州市 数野 星子

日本は昭和20年8月15日、敗戦後、過酷な時代がありました。令和2年の今年には戦後75年の節目の年であります。共に思うのは国の安泰を祈りながら散つていった三四十万五万余名もの尊い若い命があつたことを忘れることはできません。遠い異国の地で家族のことを案じつつ故郷を思い出し勝つて帰ると戦い果てて逝つたことでしょう。儂い思いで死んでいったのです。倒れゆく友を残し涙し祖国の土を踏むまではと次々に皆青春もなく散つていったのです。学徒の出陣もあり東大に合格しながらも東の間に航空隊となり遠くの空で突撃し戦い一生は砕かれ散り逝きました。こんな戦争は二度とわが国にあってはならないことです。現在では皆英霊として靖國神社に奉られております。

私の父も、私がまだ1歳の時、ニューヨークのセレベスのジャングルの中で戦死しました。帰還した戦友が10人おり山梨市の寺に大きな碑を建立して下さり毎年4月10日に遺族が慰霊祭をしております。父からの大切な軍事郵便が12枚戦地から届いております。ぎつしり小さな字で父の心が読み伝わつてきてみんなの涙がしみ込んで

よく見えていましたね」
8年も前に他界した私の父のこともよく覚えていて下さつた。

各団体の慰霊参拝



阿含宗清掃奉仕 (2.14)



かむながらのみち (2.18)



普明会教団 (3.4)



偕行社 (3.17)



水交会 (3.18)



清掃ボランティア活動奉仕会 (3.20)

でいます。頼む頼むと、またみんな元気な仲良く星子を育てて呉れ、とも。父の死で家族の心はどんなに辛かつたことでしょうか。祖母の思い、母の思い、兄妹の思い、悲しさが伝わってきます。優しかった祖父も私が小学3年の時亡くなりそれから母は生きるため夜遅くまで和裁をし頑張

り、そんな折りに武藤病院の院長先生の計らいで私も一緒に病院で食事をしようになり母は調理師の資格を取得して働き恩を返しました。
私が塩山市役所に勤務するようになり生活が安定し鉄道員の主人と孫2人に囲

◎奉納、参拝団体・参拝者(敬称略、順不同)
比島みたま会、クラスノヤルスク遺族会、中央区遺族会、ピースリング・オブ・グアム・ジャパン、解脫会東京第一教区、普明会教団、かむながらのみち、偕行社、水交会、東京義ライオンズクラブ、秀平良子、柴田米實、廣川剛秀、廣川貞雄、笹 隆治、哲子、渡邊博、佐藤光江、時田 章、河内 実、廣島昭三、平塚久夫

◎奉仕会年度会費納入者・団体(敬称略、順不同)
片木敬三、土屋禎子、室伏孝一、石橋辰夫、山根 昭本田敏美、飯島幸一、須崎久美子、本田恒雄、市野昭一山本由美子、新井實沙子、登坂岩雄、吉川光洋、金子由成、後藤国夫、藤木千鶴子、安間幸甫、加藤佳子、大石洋子、八巻敦子、高橋恭悦、吉里年和、矢可部一敏小松嶺生、佐々木弘正、麓川昭憲、村田瑞穂、松下 進深山明敏、諏訪玲子、臺きよか

◎新入会員(敬称略、順不同)
エコー株式会社、大海信一、藤岡義道、細田 修、松崎勝正、采女親範

◎参拝団体(前項以外、敬称略、順不同)
日本山妙法寺、喇叭保存会、喇叭伝承会

◎令和二年度高額奉納団体・個人(敬称略、順不同)
阿含宗関東別院、普明会教団、立正佼成会、新日本宗教団体連合会、妙智會教團、かむながらのみち、浄土真宗本願寺派、浄土真宗本山東本願寺、解脫会東京第一教区、関西宗教懇話会、富士ガイス、偕行社、東京義ライオンズクラブ、フォーラム平和・人権・環境サムリス・トリサンティア、秀平良子、柴田米實、美山光庸、廣川貞雄、笹 隆治、哲子、時田 章、福井康夫、新庄初枝、古賀英松、山崎文夫

◎清掃奉仕(敬称略、順不同)
阿含宗、清掃ボランティア活動奉仕会

◎献花台奉仕者(敬称略、順不同)
都古流一孝会(内田一孝・内田和宏)

令和3年3月31日まで受付分を掲載、4月1日以降受付分は次号に掲載します。

【お知らせ】
「語り継ぐ戦中・戦後」小冊子の刊行
昨年11月号から本紙に掲載しております「語り継ぐ戦中・戦後」を小冊子として刊行しました。ご希望される方は以下の要領でご連絡願います。
奉仕会に電話・郵便またはメールで住所・氏名及び希望冊数を連絡
連絡先は奉仕会HP参照
千鳥ヶ淵戦没者墓苑 (www.boen.or.jp)
奉仕会電話: 03-3261-6700
奉仕会メール: choushikai@boen.or.jp
奉仕会住所: 〒102-0075
東京都千代田区三番町2
千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会

(第三面からつづく)
 まれ元氣だった母が平成4年81歳で心筋梗塞で亡くなりました。私のために働きづめだった母、父の分までいっぱい愛情で育ててくれた母、月を見ると「父さんがほらいるよ」と笑った顔が浮かんできます。私には小さい頃から心の底には父と一緒に生きていました。だから困ったことも何も

【投稿のお願い】

「かけがえのない日本、
 かけがえのない世界」
 (次の世代に語り継ぐ戦争の記憶と
 平和の誓い)

今、誰もが「日常の平和」を願っています。

ワクチンの接種開始は朗報ですが、相変わらずコロナウイルスが猛威を振るい、世界中の人々がやり場のない不安と閉塞感を感じています。また、世界では内戦、紛争、難民、飢餓、弾圧、大規模テロ等の「人災」ともいえる悲劇が後を絶ちません。

しかしコロナという人類にとって最大の脅威を前にして、今は人間同士が争っている場合ではなく、英知を集め「コロナを克服し、平和な世界を目指す！」ことが必要です。

このような苦しい時期だからこそ「前向き」な気持ちを持ちたいものです。今年「平和の祭典」東京五輪・パラリンピックの年です。今こそ日本が、世界が二つに繋がり、元の「日常の平和」へ戻る時です。

日本では先の戦争を体験した人たちが減り、戦争の記憶が薄れ、国の礎となった戦没者を尊崇する意識の希薄化が懸念されます。今後は戦争を知らない世代が戦没者慰霊を継いで行かねばなりません。

私達千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会では、昨年度は戦争中や終戦後の苦しい時代を体験された方々を中心に『語り継ぐ戦争・戦後』の記事の投稿をお願いしましたが、今年度は戦後世代の方々を中心にできるだけ若い世代の方々に投稿記事を募り、

かも父と一緒に進んで母と3人だったと思っ
 ついています。

母の最後の言葉、星子！と言私を呼んで天国にいる父の元に逝ってしまいました。81歳でした。ありがとーお母さん一言言いたかった！

「今年また都忘れの咲く庭に母の呼ぶ声きこえる時」

これを広報紙「千鳥ヶ淵」に掲載し、皆様とともにコロナ禍にあつて「前向き」な意識を共有したいと念じております。

投稿のテーマ(キーワード)は「かけがえのない日本、かけがえのない世界」です。具体的には「次の世代に語り継ぐ戦争の記憶と平和の誓い」を念頭に、日本や世界の過去・現在・未来に想いを巡らし、どのようなテーマでも結構ですので記事をお寄せください。

例えば、
 現在の日本の平和や平和の礎となった人たちへ想うこと
 祖父母等から戦争の話を聞いて思うこと

戦争に関する本や漫画を読み、アニメ、映画、ドラマを観て感じたこと

戦争体験世代が減り、戦争の記憶や体験が薄れていくことについて

戦争や平和への想いが繋がる体験談(平和関連活動、遺骨収集など)

このようなことを、自分の言葉で思いっきり書いてみては如何でしょうか！

投稿要領:
 字数:千二百字程度以内(原稿用紙三枚)
 原稿は、文書作成ソフト Word (A4 縦使用・横書き) で弊会へメール送信
 choushikai@boen.or.jp (奉仕会HP参照)
 原稿用紙の場合は弊会宛に郵送
 〒102-0075

東京都千代田区三番町2
 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会

政治的メッセージの投稿はご遠慮下さい。
 原稿のテーマ、氏名・住所・電話番号等を忘れずにご記入下さい。(なお、匿名を希望される方はその旨付記下さい。)
 原稿締め切り:令和3年11月30日

墓苑便り(奉仕会だより)

一、5/6月献花の予定

- 日新流 小田切博新
- 藤栄流 落合 一文
- 古流わかば会 武藤 理春
- 古流茂風会 大藤 茂風
- 国際華道如心会 若林 広峯
- 未生流 谷口 信甫
- 東末生流 高橋 良久
- 草翠流 林 草翠

二、墓苑のお色直し

本屋(六角堂、前屋及び一部の苑内道路の二斉リニューアルが、管理事務所の計画により1月初旬から3月中旬までの間に行われました。本屋と前屋の塗装工事については、創建以来二度目であり、約30年ぶりとなります。一方、東門から休憩所に至る道路についても舗装工事が行われ、部分的ながら苑内の道路には新たな舗装が行われました。また、藤棚・街路灯の取り換えやベンチの塗装などの



改修された藤棚付近のベンチ

工事も行われ、花見時期に訪れた参拝者が春の陽光の下、飲食していました。

三、令和3年度秋季慰霊祭について
 当奉仕会主催の秋季慰霊祭を次の通り開催する予定です。

日時 10月18日(月) 13時から
 行事内容 各種奉納行事(献茶、御製奉誦、唱歌奉唱等)、自衛隊の部隊による拝礼等

会員の方はおもとより、どなたでもご連絡いただければご参列できます。皆様お誘い合わせの上、是非ご参加をお願いいたします。

なお、コロナの感染状況によっては、昨年と同様に規模を縮小して行う場合には招待者のみのご参列とし、会員を含み一般の方のご参列については、ご遠慮いただくこととなります。



宝くじ桜



一輪車



ドリームジャンボ絵本



移動採血車



宝くじは、

図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、さまざまなかたちでみなさまの豊かな暮らしに役立っています。



青色回転灯パトロール車



下水道啓発パンフレット



自然公園案内映像展示設備



遊具

